

# 静岡県静岡市(静岡地区)

## 中心市街地活性化基本計画

【3期計画:令和4年4月～令和9年3月】

【目指す中心市街地の都市像】

いつでも活気に満ちあふれ、住む人、訪れる人をワクワクさせる中心市街地(まちの顔)の実現

【静岡市の概要】・人口684,264人(R3年6月1日現在)、面積1,411.83km<sup>2</sup> (旧静岡市:人口456,727人、面積1,146.81km<sup>2</sup>)

平成15年4月1日に旧静岡市と旧清水市が合併して誕生。駿府城下町として長い歴史を有し、東海道の要衝として栄えてきた。また、国の特定重要港湾・清水港を擁し、世界的な物流機能も備えている。平成17年4月1日に政令指定都市に移行。

【静岡地区】人口15,772人、面積2.4km<sup>2</sup>

### 【中心市街地の課題等】

#### 1) 静岡地区を牽引してきた基幹産業である商業機能の低下

静岡地区は県中部100万人を超える都市圏の商業都市として発展してきており、官民の事業も活発に行われている一方、中心市街地の空き店舗が増加するなど経済活力が失われつつあることが課題である。

※主要な通りの空き店舗数 H26:42店舗→R2:97店舗(55店舗の増加)

#### 2) 観光客数の減少

静岡地区には駿府城公園や市民文化会館、市立美術館などの集客施設が集積しているものの、その利用者が減少傾向にあり、まちのにぎわいが低下していることが課題である。

※観光客数 H26:1,351千人→R2:524千人(827千人の減少)

#### 3) 市内人口の減少

静岡地区の居住人口は、市街地再開発事業や優良建築物等整備事業が進んだことから増加傾向にあるが、市全域の人口減少に歯止めがかかっておらず、いかに人口を維持していくかが課題である。

※中心市街地人口 H26:15,272人→R2:15,979人(707人の増加)

### 【新計画目標】

目標	目標指標	基準値	推計値	目標値
共通目標	歩行者通行量	4,218人 (R2)	6,538人 (R8)	6,812人 (R8)
訪れたい商都	主要な商店街の 空き店舗率	5.9% (R2)	5.9% (R8)	3.3% (R8)
にぎわいのある商都	観光客数	524千人 (R2)	1,010千人 (R8)	1,374千人 (R8)
住み続けたい商都	中心市街地人口	15,979人 (R2)	16,349人 (R8)	16,499人 (R8)

### 【中心市街地活性化の方針】

#### 【基本方針①】魅力的な人とお店が出会い新たな価値を創造するまちづくりによる商業機能の向上

市内外に誇れる価値を創造し活発な経済活動が行われる商業都市の実現を目指すため、再開発事業による商業機能の強化を推進するほか、チャレンジショップの実施等により地域商業の育成を実施していく。

【目標】訪れたい商都

【指標】主要な通りの空き店舗率(%)

「全37事業(重複含む)」

#### 【基本方針②】人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりによるにぎわいの創出

中心市街地の魅力や個性(地域資源、歴史等)を活かした活性化を推進し、中心市街地を舞台に訴求力が高く賑わいを生み出すイベントを官民連携して実施していくほか、歴史文化を活用した施設運営やソフト事業等に取り組んでいく。

【目標】にぎわいのある商都

【指標】観光客数(千人)

「全64事業(重複含む)」

#### 【基本方針③】居心地が良く暮らし続けられるまちづくりの推進

再開発事業に伴う道路整備や無電中化、ウォークアブルなまちづくり等を推進することで回遊性や快適性の高い居心地が良い住み続けたい商都を目指していく。

【目標】住み続けたい商都

【指標】中心市街地人口(人)

「全23事業(重複含む)」

### 【前期計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値
“わくわくドキドキ” にぎわいと活力のまち	主要な通りの 店舗・事業所数	540件 (H26)	555件 (R3)	567件 (R2) 【達成】
“てくてくらくら” あちこち巡るずっと 居たいまち	歩行者通行量	6,445人 (H26)	7,123人 (R3)	4,217人 (R2) 【未達成】

# 静岡市中心市街地活性化基本計画（静岡地区）の事業概要

人々が訪れてみたいと憧れを抱く  
個性あるまちづくりによるにぎわいの創出

## ①静岡市歴史博物館運営事業

歴史文化施設の開館及び各種イベントやワークショップ等の実施により、本市の歴史文化の魅力を広く発信し市内外からの広域誘客を図ることでのにぎわう商都を目指す。



## ②駿府城公園エリアライトアップ事業

観光資源である駿府城公園を活用した夜景観光を推進するため、ライトアップの整備等を行い市内外からの新たな観光誘客に取り組むことでのにぎわいの創出を図る。

## ○大道芸ワールドカップin静岡開催事業

1992年に始まって以来、毎年11月初旬に開催している本市を代表するイベント。中心市街地全体がパフォーマンスの舞台となり期間中には150万人が訪れる。本取組を通してにぎわう商都を目指す。

居心地が良く暮らし続けられる  
まちづくりの推進

## ③御幸町9番・伝馬町4番地区第一種市街地再開発事業（地下道整備）

再開発事業と合わせ既存地下道との接続整備を行うことで快適な歩行空間を確保し居心地が良く回遊性の高いまちを目指す。

### ○無電柱化事業

幹線道路等主要な道路における無電柱化を推進することでまちの快適性や回遊性、都市景観の向上等を図る。

### ○移住促進事業

移住支援センターの運営や移住セミナー、フェアの開催、移住体験ツアー、移住相談員の設置、お試しテレワーク体験事業等を一体的に取り組むことで居住人口の増加を図る。



魅力的な人とお店が出会い新たな  
価値を創造するまちづくりによる商業機能の向上

## ④静岡御幸町9番・伝馬町4番地区第一種市街地再開発事業

地下1階、地上15階建ての再開発ビルを整備する。地下1階～2階は商業機能、4階～12階には専門学校の複合型キャンパスが開催される。駅前顔として新たな動線を生み玄関口にふさわしい施設を目指す。

### ○チャレンジショップ出店支援事業

中心市街地への新規出店を促すため、中活区域内に立地する大型商業施設の空きスペースを活用したチャレンジショップ支援事業を実施する。  
地域の魅力的なお店に対し中心市街地への出店の後押しをする。

